

提 案 概 要

北九州市立門司体育館等26スポーツ施設

団体名：北九州スポーツネットワーク共同事業体

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p><理念> スポーツでつながる 北九州</p> <p><基本方針></p> <ol style="list-style-type: none">1. 人と人がつながる ～スポーツコミュニティの醸成～2. 地域がつながる ～市内スポーツ施設の有効活用～3. スポーツ施設が未来につながる ～持続可能な運営～
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none">・代表企業は、コナミグループからの万全なバックアップ体制があり、平成30年度の売上高は629億円 営業利益は約49億円である。・構成企業の日本管財は、安定した収益構造による収益確保を実施し、平成30年度の売上高は576億円 営業利益は約40億円である。・構成企業のコアズは、北九州市で確かな実績を構築し、平成29年度の売上高は173億円 営業利益は約2億円である。
(3) 実績や経験など
<ul style="list-style-type: none">・代表企業は、9年半本施設での指定管理業務を通じ、北九州市のスポーツ普及及び振興による地域活性化の一翼を担っている。積み上げた実績を、さらに発展させていくため、さらなる市への貢献を果たす。・構成企業の日本管財は、大きな事故、トラブルを発生させることなく、安定的に業務を実施してきた。今後も、同様の取組みを継続し、これまで市民に愛されてきた貴重な財産を、長く使って頂けるよう、全身全霊で維持管理業務に取り組む。・構成企業のコアズは、現在も本施設のプール監視を担当し、運営委員会とも綿密な連携体制の基、確実かつ安全な管理体制を構築してきた。これからも市民の安全を万全な体制で守る。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み					
【利用者数の目標値】					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
630千人	635千人	640千人	645千人	650千人	
1. 人と人がつながる ～スポーツコミュニティの醸成～ 2. 地域がつながる ～市内スポーツ施設の有効活用～ 3. スポーツ施設が未来に繋がる ～持続可能な運営～					
<ul style="list-style-type: none"> ・労働関連法規の遵守 ・市民の雇用促進 ・マラソン大会への協力 ・教室無料イベントの開催 ・成果発表会の開催 ・館内案内ブックの更新 ・各世代に応じた教室の開催 ・暴力団排除条例に関する取組み ・北九州市コーナーの設置 ・職場体験への協力 ・免許返納者教室1回無料 ・水泳記録会の開催 ・管理運営と両立した自主事業 ・トップアスリートイベントの開催 					
(2) 利用者の満足度					
【利用者アンケート満足度】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用	95%	95%	95%	95%	95%
職員対応	95%	95%	95%	95%	95%
1. 施設を知り尽くした専門集団による維持管理 2. 計画的な予防保全による安全な施設の提供 3. 施設の資産価値の向上					
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の声BOXの設置 ・利用者アンケートの実施（平成30年度：2,400名以上から収集） ・苦情対応研修の実施 ・施設専用ホームページのリニューアル ・屋外施設利用ルールの周知徹底 ・施設の質を維持向上させる維持管理 ・実績に基づいた確実、点検・修繕・清掃・植栽管理 					
【効率性】に関する取組み					
(1) 指定管理料及び収入					
<ul style="list-style-type: none"> ・職員へのコスト意識の醸成 ・スケールメリットを活かした発注費の低減 					

- ・マルチジョブ化（多能化）による効率的・効果的な人員配置

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
管理運営費	309,955千円	309,955千円	309,955千円	309,955千円	309,955千円
使用料収入(実収入)	70,000千円	71,400千円	72,100千円	72,800千円	73,500千円
指定管理料	309,955千円	309,955千円	309,955千円	309,955千円	309,955千円

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- ・豊富な実績に基づく適正な積算
- ・市内業者を優先した再委託管理

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

- ・3社の万全なバックアップ体制
- ・高水準の品質安全を確保する勤務体制
- ・エリア担当制の導入
- ・施設を最大限に活かす資格者の配置
- ・有資格者によるバックアップ体制

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ・プライバシーマークの取得
- ・安全マニュアルの設定
- ・学校先生向けCPR及びAED講習会
- ・災害備蓄水の常備
- ・個人情報保護研修の実施徹底したCPR及びAED操作研修
- ・熱中症指数系による対策
- ・業界屈指のセキュリティ対策
- ・徹底した防犯対策
- ・公共事業従事者研修プール緊急時対応シミュレーション
- ・市の財産を守る金銭管理研修
- ・ライフステージに応じた教室事業
- ・不測の事態に備えたマニュアル
- ・ユニバーサルデザインでの案内
- ・高齢者・障がい者対応研修
- ・ユニバーサルマナー検定受講災害を想定した研修体系

提案額（千円）

令和2年度	309,955千円
令和3年度	309,955千円
令和4年度	309,955千円
令和5年度	309,955千円
令和6年度	309,955千円